

報告書

【目的】

大阪大学主催「H27、28 高校教員向け探究学習指導セミナー」の受講者を対象に、その後のフォローアップを行うことで、所属校における指導のリーダーとして、探究学習を導入、定着、発展させていくための支援を行う。

【日時】2016年12月23日（金）13時30分～17時45分

【会場】大阪大学豊中キャンパス 全学教育推進機構 総合棟1
ステューデント・commons 2F セミナー室C

【対象】2016年8月10、11日または2016年8月8、9日に開催した本学「探究学習指導セミナー～入門編～」を全課程受講し、その後、指導の実践を経験された高校教員。

【セミナー講師】

井上 志音(灘高等学校 教諭)

大前 吉史(兵庫高等学校 主幹教諭)

山下 仁司(大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 教授)

佐藤 浩章(大阪大学 全学教育推進機構 教育学習支援部 准教授)

進藤 修一(大阪大学 副理事、言語文化研究科 教授)

【参加人数】受講生 15名、講師 5名、オブザーバー 7名 計 27名

【プログラム内容】

時間	内容	講師・司会
13時30分～13時40分	開会式	佐藤 浩章
13時40分～14時00分	自己&所属校の課題紹介	
14時00分～14時45分	グループワーク「各高校における探究学習の課題共有と解決策の模索」	大前 吉史 井上 志音 進藤 修一 佐藤 浩章
14時45分～15時00分	休憩	
15時00分～15時30分	講演Ⅰ「探求学習を前提にした国内外の入試改革の動向」	山下 仁司
15時30分～16時00分	講演Ⅱ「TOK(Theory of Knowledge)とは何か」	井上 志音
16時00分～16時15分	個人ワーク「探究学習の探求デザイン」	
16時15分～16時30分	ペア・グループワーク「ブラッシュアップ」	
16時30分～17時30分	発表とフィードバック	
17時30分～17時45分	振り返りと閉会式(修了証授与)	佐藤 浩章
18時～	情報交換会(希望者のみ)	

【事後課題について】

・探究学習の取り組みにおいて、各自がもつ課題について事後にレポートとして提出することが求められた。その文面を提出者同士で共有し、解決策をさぐる手がかりとしてもらっている。

【参加者の声—アンケート結果より（抜粋）—】

- ・入試改革に探究活動がどうとり込まれているかが大変よくわかった。思考を誘発する「発問」の重要性を参考にし、今後の実践にいかしたいと思った。
- ・入試改革の動向について大変面白いお話をいただいてとても参考になりました。探究学習が今後より重要になっていくことがよくわかりました。
- ・TOKと探究活動のつながりが大変よく理解できた。
- ・IB、あるいはTOKの理念をどう使えるものにするか、という点が重要だという点が印象的でした。
- ・「問いの立て方」やその方法について大変参考になりました。学校に戻ってさっそく実践していきたいと思います。
- ・具体的な高大連携のありようが理解できた。
- ・多くの熱い先生方に出会って、思索の時間が実りあるものになった。生徒に考える機会を与える問いの例を他校の先生方にいただいた。
- ・課題としてきたことに対して解決の糸口が見えたように思います。
- ・今回のような教員が現場で生かせる企画・セミナーは大変ありがたく思います。
- ・大学側の様子も聞くことができてよかった。

以上

